



農業振興と地域活性化の一翼を担う 『産直おおだいこ』待望のオープン

道の駅たかのす地内に建設された「産直おおだいこ」が、7月27日にオープンし、たくさんのお買い物客でにぎわいました。

産直おおだいこは、地域の農林水産物、地場産品等の販路の拡大により産地化を推進し、農業振興と地域活性化を図るため北秋田市が建設し、管理運営は指定管理者の鷹巣町農業協同組合（斉藤一志組合長）が行います。

店舗前では、綴子大太鼓が威勢よく打ち鳴らされ、開店を待つ大勢の買い物客を歓迎しました。

記念式典で津谷市長は「地元の農家の皆さんが丹精込めて作られた新鮮で安心安全な野菜が集まり、生産者が多くの消費者とふれ合える施設にしていきたい。道の駅たかのす一帯を大いに楽しんでもらい、にぎわいの拠点にしてほしい」などと祝辞を述べ、農業振興と道の駅の活性化に期待を寄せました。

このあと関係者によるテープカットが行われ、オープンを待ちわびていた市民が次々と入店し、店内に並ぶ地元産の新鮮な野菜や加工品を買い求めていました。



入場のための長蛇の列



テープカットでオープンを祝う



新鮮な野菜を買い求める市民



たくさんの買い物客でにぎわう店内



直筆の書で秋田への思いを表す豪風関



取組では遠藤関に快勝



豪風関 県民栄誉章 受章

郷土が誇る力士、豪風関（北秋田市出身・37歳本名＝成田旭）の秋田県民栄誉章顕彰式が、8月16日に秋田県立体育館で行われました。夏巡業大相撲秋田場所の幕内横綱土俵入りのあと、多くの観衆と力士が見守る中で行われた顕彰式では、佐竹敬久県知事から秋田県民栄誉章が授与され、会場には大きな拍手が響き渡りました。

豪風関は、平成28年3月大阪府立体育会館で行われた大相撲3月場所10日目に、本県出身力士では最多となる幕内通算507勝を達成。本県出身力士の幕内500勝達成は、旧雄勝町出身の元大関清國関に続き2人目の快挙であり、現在も最多勝記録を更新中です。また、帰省時には、福祉施設や学校への訪問活動も積極的に行うなど、身近な郷土力士として広く県民に愛されるところに、たゆまぬ努力と研鑽により、幕内という高いレベルで取り組みを続け、県民に勇気と希望を与えていることが功績として認められたものです。

県民栄誉章は、これまでプロ野球選手の落合博満さんなど14個人、3団体が受章しており、北秋田市ではノルデックススキー世界選手権大会団体複合優勝の小林範仁さん、湊祐介さんが平成21年に受章しています。

顕彰式では、佐竹県知事が「広く県民に敬愛され、社会に明るい希望を与えるとともに秋田県の名を高めた」などと式辞を述べて、豪風関に表彰状と盾を手渡し、首に栄誉章のメダルをかけて、かたく握手を交わしました。

豪風関は「受章は、福祉施設の慰問や学校訪問のときに携わった方々や多くの人のおかげ」などと感謝の気持ちを表しました。

また、今後については「22歳で大相撲の世界に入ったが、その時37歳の豪風は想像していなかった。4年後に東京オリンピックがある。その時は41歳。37歳の豪風も想像できなかったが、41歳の豪風も想像できません。41歳の豪風に向かって日々努力していきたい」などと抱負を語りました。

満員の会場からは、大きな拍手と歓声が沸き起こり「豪風おめでとう」「これからも頑張れ」などとお祝いや応援の声が掛けられました。

取組のあと、豪風関が「秋田に感謝 豪風」と直筆で書いた大きな書を観衆に掲げて秋田への思いを表すと、観衆からはさらに大きな声援と惜しみなない拍手が送られました。